

市民の声を行政に問う

一般質問 10人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

グリーン・ツーリズム

専属の職員等の配置を

市長／人材の活用について検討する



内園 知恵子 議員

**子どもの貧困について
市の対策は**

市長／総合的に取り組む

内園 子どもの貧困率は先進国の中で高い水準にある。本市はどのような対策を考えているか。

市長 低所得世帯やひとり親世帯に対し、保育

料の軽減、医療費助成など総合的に取り組んでいる。
内園 支援を必要としている子どもは何人か。
福祉課長 育児放棄、家庭内暴力なども入れて58人である。
内園 家庭では十分な食事がとれない子どもたちにも食事を提供する「子ども食堂」が各地で立ち上がっている。市内で立ち上げたい人に支援する考えは。
市長 必要な情報提供、助言等の支援を行う。



農業体験をする修学旅行生

内園 農家レストラン・民泊の立ち上げ、民泊受入家庭の掘り起こし等、グリーン・ツーリズムをさらに推進していくために、専属の職員を配置する考えはないか。

市長 効果的に企画立案、調整を図るために、多彩なメニュー作りのできる人材、それを実行できる人材が必要と考える。
グリーン・ツーリズムに思い入れがあり、関係団体・個人とのネットワークや知識の豊富な人材の活用について検討する。

小学校再編

成果と課題を問う

教育長／要望をうけ、再編の協議を行った



日置 友幸 議員

別な事情など弾力的運用が必要だ。

日置 複式学級を抱える学校の保護者アンケート結果をみると、再編の検討を希望する声が過半数となっている。地域や保護者の理解なき再編はあり得ないが、市が再編の全体構想を示し、地域

や保護者と検討する場を設ける必要があると考えるが、見解を問う。
教育長 現在、南九州市小学校将来のあり方検討委員会を設置し、適正配置を検討している。スケジュールや行動計画も必要だろう。教育内容や教育方法も含めて将来のあり方を考えないといけない。
投げかけをするとすれば、地域や保護者が選択肢を持てる投げかけをする必要がある。

沈砂池

設置及び管理状況は

市長／ガイドライン等に基づき指導している



米満 孝二 議員

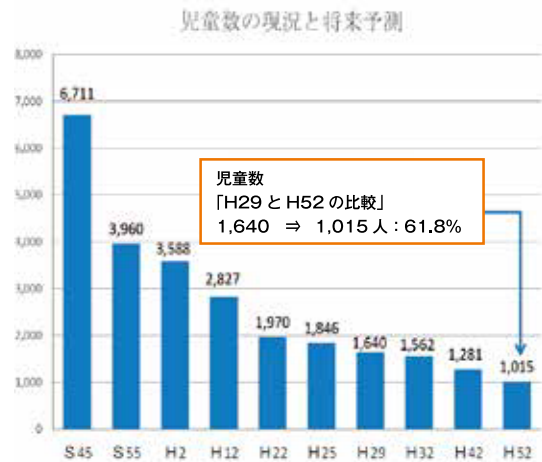
造が定められている。1ヘクタール以下については市のガイドラインに基づき指導している。

大川漁港のしゅんせつは
市長／継続して県に要望する

米満 大川漁港の土砂堆積が著しい。漁船の安心安全が保たれるべきと考え、県との協議をどのように進めていくか。
市長 大川漁港の土砂堆積については、これまで11回にわたり、県事業によりしゅんせつが行われた経緯がある。早期事業実施に向け県に対し継続して働きかけていく。

その他の質問
・別府温泉の有効活用

日置 市の計画が示す「適正な学校規模による教育活動の推進」について、成果と課題を問う。
教育長 地域から再編の要望があった小学校について、再編に向けた丁寧な協議を行った。これからも保護者や地域の声を大切にしながら協議を行っていきたい。
日置 市の示す適正規模とは「複式学級の解消」と理解するが、見解を問う。
教育長 基本的にはそうだが、地域の課題や特



この二次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、学校の再編情報を市HPよりご覧いただけます。

米満 畑かん地区に設置している沈砂池の設置及び管理状況を問う。
市長 南薩土地改良区が管理しており、土砂しゅんせつについては、毎年基本的な回数を定めて実施している。
米満 太陽光発電設置のため、山林が開発されている。沈砂池の設置基準などに基づいた市の対応は。
市長 1ヘクタール以上の開発については、県の「林地開発許可」によって、沈砂池の必要容量・構



大川漁港の土砂堆積

市立図書館

指定管理導入の再考を

市長／財政負担軽減と
サービス向上を図る



大倉野 由美子 議員

の導入で、財政負担軽減やサービスの向上が図られると考える。

就学援助制度の見直しを 教育長／検討中である

大倉野

国は、就学援

助制度の支給額と支給時期を見直した。市の対応を問う。

教育長 新入学用品費については、小学生2万470円を4万600円に、中学生2万3550円を4万7400円に増額した。中学生への支給は来年度から入学時支給を検討中である。

その他の質問

- ・核兵器禁止条約
- ・急傾斜地崩壊危険箇所
- ・木造住宅耐震補助



知覧図書館のある夢郷館

空き店舗活用

補助対象を拡げる考えは

市長／商工会と協議し検討する



吉永 賢三 議員

業所が活用しやすい補助制度は必要だと考えている。

県内他市を参考に南九州市商工会と協議しながら検討する。

吉永 活用件数も年々減少しているが、対象の「空き店舗」を「空き店舗等」とし「商店街及び通り会」を「南九州市内」にするなど、幅広く活用できるように制度を見直す考えはないか。

商工観光課長

補助制度は5年経過して活用件数が減少してきている。制度の要綱など見直す時期であると考え、商工会と協議していく。



知覧まち商店街

吉永

南九州市商店街活性化対策補助金交付要綱は、補助対象が空き店舗の活用に限定され、対象地域が商店街及び通り会となっている。補助事業の分析をし、広く商業の育成及び振興を図るために補助対象を拡げる考えはないか。

市長

空き店舗活用事業補助金は、「空き店舗」を活用する内容とし、H24年度から13事業所の活用があり、通り会に準ずる地域も適用してきた。商工業が活性化し、事

庁舎建設

国県機関との合同庁舎方式の検討を

市長／庁舎建設の議論に併せ財務局とも協議



西 次雄 議員

実施する考えは。
市長 検討委員会で意見があれば、検討したい。

畜産経営の基盤強化を 市長／飼養技術及び経営方針を活かせる対応を行う

西 農業の振興なしには本市の発展はない。子

牛価格が高騰し、畜産農家等から畜産振興予算は毎年減額幅が大きいとの声がある。畜産経営の基盤強化を図るため、肉用牛一貫経営を推進する考えは。

市長

子牛価格の高騰が肥育農家の経営を圧迫している状況にある。経営基盤の強化を図るために、子牛を確保する一貫経営は有効であるが、一貫経営への移行を一律に推進するのではなく、農家の声を聞きながら経営体の飼養技術及び経営方針を活かせる対応を行う。



牛舎（川辺町下山田）

企業誘致

市の体制強化を

市長／幅広い活動を展開する



浜田 茂久 議員

浜田 市は「産業・観光活動ビジョン」を示す必要がある。ビジョンには先進性と独自性が求められる。

ビジョンの実施においては目標設定と誘致企業の絞り込みが必要だ。

また、まちづくりと調和し連動した取組みが重要となる。

ビジョンの策定とその実施について市長の見解を問う。

市長

現在準備中のまちづくりの最上位計画である第2次総合計画において目標を定める。企業誘致は、農畜産物を活用した食品関連産業や成長が期待される製造業などの誘致活動を、観光分野の施策と一体的に推進していく。

西 庁舎建設を10年後で40億円としており、補助金も無く多額の建設費を伴うことから、国県などの出先機関との合同庁舎方式を検討する考えは。

市長

H27年度に九州財務局より、公的施設の効率的な再編及び最適化で打診があった。今後、本市の庁舎建設の議論に併せて財務局とも協議を行う。

西

庁舎建設について、検討委員会の提言後に市民アンケート調査を



南九州市企業立地ガイド

水田農業用施設

整備計画を策定する考えは

市長／インフラ長寿命化計画を
基に施設整備を進める



大倉野 忠浩 議員

えは。市長 大規模な暗渠排水整備については、要望のある地域に対し、農地集積や集約化の条件整備などの協議を行い、事業に取り組めるよう努める。

大倉野 施設更新に伴い生じる受益者負担について、個人負担のない整備や負担率の軽減を国県に働きかける考えは。市長 受益者負担金は事業において特別な受益を受ける点からやむを得ないものと考えている。負担金を少しでも軽減する事前積立について理解が得られるよう説明する。併せて、補助率の高い事業の創設について、県を通じ国へ要望する。

大倉野 水田農業用施設の機能保全の重要性を認識し、今後の方針や支援策を盛り込んだ整備計画を策定する考えは。市長 農業用施設の排水路等は、老朽化が進行している。食糧生産を支える重要なインフラであり、防災・減災の公益的な役割も果たしている。当面は、「土地改良施設インフラ長寿命化計画」を基に整備を進める。大倉野 高収益作物転換支援のため、暗渠排水施設の整備を促進する考



広がる水田と
たわわに実った稲穂

着地型観光

推進体制の整備を

市長／人材活用と活動拠点について
検討する



山下 つきみ 議員

検討する。活動拠点についても、人材活用の検討の中で必要性等考えていきたい。市長 着地型観光の産業化を図る考えは。家族、みる観光から体験・団体から個人・

滞在型へと旅行者の価値観が転換しており、着地型観光の推進は急務であると考えている。観光地帯をモデルとした県の地域振興推進事業を市全域に普及させることで地域内に新たな観光サービス需要が生まれ、雇用を生み定住を促す好循環となる。着地型観光ビジネスが自然と生まれてくるような環境の創出に取り組んでいく。

山下 本市のツーリズム協議会が実施している修学旅行生などの体験宿泊受け入れ事業をさらに充実させるため、活動拠点を設置し、専任者を配置する考えはないか。市長 都市間交流を進めていくうえで、効果的な企画立案ができる人材、それを実行できる人材の育成が必要なことから、グリーン・ツーリズムに思い入れがあり、ネットワークや知識が豊富な人材の活用についてさまざまな角度から総合的に



修学旅行生を迎える入村式

庁舎建設

実現可能か

市長／可能となるよう努力する



満留 秀昭 議員

かげ、28年度末で、約4億円の積み立てができた。国の機関との合同庁舎方式など、様々な建設費用工面の手法を検討し、建設を可能にする努力を

満留 多くの市民は新庁舎建設について十分に理解していないと思う。私は反対だが、決めた以上は市民に理解してもらう必要があると考えるが、見解を問う。市長 財政的なこともある。まだ時間があるので、市民の声を聞き、理解を求めている。その他の質問 ・職員提案制度

満留 本市の財政状況を鑑みて、庁舎建設は実現可能か。市長 職員350人収容の庁舎建設には約40億円の建設費用が必要であるとのことを受け、H24年度開催の「庁舎の在り方市民検討委員会」から、「次世代への負担をできるだけ軽減するため、毎年2億円程度の基金積み立てを行い、将来の新庁舎建設に備えるべき」との答申をいただいた。市として毎年1億円以上の積み立てを目標にか



現在の知覧庁舎

議会を傍聴してみませんか

次の議会は
12月6日(水)開会予定

*手続き簡単 本館2階で住所・氏名を書くだけ

12月定例会

12月6日	本会議（開会）	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
7日	本会議	一般質問
8日	本会議	一般質問
11日	常任委員会	補正予算等審査
18日	本会議	補正予算等採決
25日	本会議（閉会）	

◆議会中継◆ インターネット配信または各庁舎ロビーでご覧いただけます。